今、子どもが危ない!

	刑法犯総数			
	認知 (件)	検挙 ^(件)	検挙人員 (人)	検挙率 (%)
平成17年	33,357	9,819	6,341	29.4
平成16年	40,211	10,516	7,413	26.2
平成15年	43,376	11,976	7,772	27.6
平成14年	49,261	10,412	7,214	21.1
平成13年	49,887	10,081	6,127	20.2
平成8年	33,418	10,090	4,462	30.2

「主の】 士則則注約|| 羽知(供料

【衣 2 】 印 列 刑 法 犯 認 和 什 致					
	平成17年 (件)	平成8年(件)	比較 (%)		
登米市	984	645	52.6		
栗原市	742	936	△20.7		
名取市	876	952	△8.0		
古川市	1,376	1,264	8.9		
石巻市	2,341	1,970	18.8		
仙台市	14,602	16,020	△8.9		

家庭では、 地域や学校、 防犯につ ようにするため 家庭が連 いて子

話しあうことが必要です。わないための心構えや行動をどもと一緒に考え、犯罪に遭

罪から守り、将来を担う には、 とが重要となります。 携して防犯対策に取り組むこ き込まれない

ら守り、事件や事故に巻来を担う子どもたちを犯

組みが犯罪

から守る第

地域や学校、

家庭で

の

完すに組織化的犯指導隊を

的を持って、積極的な活動を子どもを守るという共通の目それぞれ立場は違いますが、

学校でさまざまな防犯活動を行政が協力し合い、各地域や 行政が協力し合い、各地域や市内では、地域住民や警察 児童生徒の安全を守っていか連携した防犯対策に取り組み、 行っています。 なければなりません。

今後は、 市全域 れました。

現在、市では7地区に防犯 指導隊を設置し、隊員123 人が地域の防犯パトロールや 防犯広報などの活動を行って います。合併時には、迫、東 れていましたが、合併後、登 れていましたが、合併後、登 活動が展開できるよう、 市全域にわたって 、米計山

犯罪や事件、 全国的に子どもを狙っ 事故が多発

新聞やテレビで伝えられてい事故が多発し、連日のように狙った犯罪や犠牲になる事件、狙った犯罪や

1えない世の中になってきのどかなまちでも安心と

854牛戦、前年に上、万3357件。前年に上、3生した刑法犯認知件数は、3生した刑法犯認知件数は、3

は言えない なったいたましい事件が起こ

近県でも、 小学生が犠牲と

市で発生した刑法犯の内容車の盗難など、窃盗が最も多くなっています。軽犯罪から凶悪犯罪へ発展する可能性もあるため、地域を挙げて防犯が策に取り組んでいかなければなりません。

す【表2】。 平成8年に比べると約3%の 平成8年に比べると約3%の 続の減少となりま 登米市 した [表1] (佐沼・ 登

ケースが多く、不審な人物が 車や自転車で児童生徒に近づ き、声を掛けたり、追いかけ たりするなどの内容となって います【表3】。 幸いこう

例も報告されています。いたずらされそうになった事いたずらされそうになった事のも報告されていませい。

がで

警察署や市教育委員会に寄せ に関する情報が、 毎年児童生徒を狙った不審者 犯罪や事件、 います。 事故のほか、 佐沼・登米

に黒い上着

【表3】市内の不審者情報 ■佐沼警察署ホームページ「児童・生徒に対する不審動向」から 中学1年生の女子が自転車 ●メガネ、茶髪 H17.09.16 南方町松葉付 で帰宅途中、車に乗った男 の男 10:10ころ 近路上 に声を掛けられたので逃げ ●灰色の小型車 帰ったもの か軽乗用車 小学5年生の女子2人が歩 ●20~30歳代の いて帰宅途中、後方からゆ 迫町佐沼「合 っくり走ってくる車に気付 男、身長185cm位 やせ形、面長 H 17.11.10 き、逃げたが男は車から降 りて追いかけてきたため民 家に隠れたところ、走り 同庁舎」西側 路上 ●浅黒、サング 15:20ころ ラス、ニット帽 ●白色の普通乗 去ったもの 用車(ワゴン) ■市ホームページ「不審者情報掲示板」から 発生日時 発生場所 宝江小2年生の男子が中田 ●背が高く白ひ 児童館に向かう途中、自転 車を引いた男に腕をつかま げの男、黒い帽 H 18.05.26 「宝江小」付 15:00ころ 近路上 れそうになったもの ●銀色の自転車 ●50歳代の男 H 18.05.26 中田町石森 加賀野小児童が自転車に乗 ●黒い帽子、青 「加賀野小」った男に腕をつかまれ、慌 いジャージの上 16:00ころ 付近国道沿い てて逃げたもの



石越地区への設置に向け、